

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/image1.pdf>

平成26年6月6日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	4号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)の冷却水温度調節弁のガイドプレート取付ボルト1本が外れていることを確認した。当該弁を点検・修理。	
2	5号機	工具センターにおいて、ダイヤルゲージ(比較測定器)の定期校正時、誤差が管理値を超えていることを確認した。当該計測器を点検・修理、測定記録への影響を評価。	
3	6号機	原子炉建屋大物搬入口防潮扉の固定用ストッパーの操作レバーに破損を確認した。当該レバーを点検・修理。	
4	6号機	原子炉内蔵型再循環ポンプ検査室に仮置き中の消火器を作業員が倒し、消火剤が床面に飛散した。消火剤は拭き取り実施済み。周辺機器への影響なし。	
5	7号機	非常用ディーゼル発電設備給気弁(予備品)の点検時、給気弁のシート面の浸透探傷検査にて指示模様を確認した。当該弁を修理。	